



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

Vol. 60

No. 21

第 2834 例会  
2022年5月10日号

WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2580地区

# 東京江東ロータリークラブ

2020～2021年度 テーマ

Serve to Change Lives

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために  
RI 会長 ジュカール・メー 地区ガバナー 若林英博

今日の卓話

## 60周年記念例会について

大澤実行委員長

誓願成就

～願いはかなえよう～  
クラブ会長 小嶋映治

次回例会案内

60周年記念講演

現代に生きる渋沢栄一  
～受け継ぐべき思想と行動～  
渋沢資料館顧問 井上潤氏

E-mail : koto.re@sweet.ocn.ne.jp http://www.koto-rotary.jp

例会報告

4/19 訂正出席率 80.95%  
4/26 会員数 21 名中 14 名  
出席率 66.67%



## 会長・幹事報告

- ・4/22 (金) 2021 年度アートパラ深川おしゃべりな芸術祭開催報告会に青木会員が出席しました。
- ・4/25 (月) RLI 第 2 回 DL 資格取得セミナーに鈴木会員が出席しました。
- ・4/25 (月) 次年度会長幹事会に小野会長エレクト、末次次期幹事が出席しました。
- ・5/3 (火) は祝日休会となりますので、次回例会は5/10 (火) となります。

### <委員会報告・その他>

大澤 60 周年記念実行委員長：60 周年記念例会について。  
(5/17 (火) 欠席連絡確認)



【配布物】クラブ紹介カード (事務局作成の為、多少印刷ズレがあります。)

## ニコニコボックス



小嶋会長：本日卓話江良様、楽しみにしております。

板倉幹事：ゲストの江良様、藤井様、山本様、本日はオープン例会でございます。是非お楽しみください。

平手副会長：本日はよろしくお祈いします。

小野会長エレクト：江良様、本日の卓話楽しみにしております。山本様、藤井様ようこそ！

末次君：昨日、会長幹事会行ってきました！

伊藤 (三) 君：皆でオープン例会を楽しみましょう！

鈴木君：江良様卓話よろしくお祈いします。楽しみにしています。

伊藤 (海) 君：本日も宜しくお祈いします。

大澤 (秀) 君：本日の卓話楽しみにしています。

河西君：本日も宜しくお祈いします。

堀君：今日もよろしくお祈いします。

熊川君：本日も宜しくお祈いします。

益子君：本日、東京サラヤ 江良様卓話よろしくお祈いいたします。

合計 41,000 円  
累計 1,299,000 円

## ☆今週のワンポイントレッスン (No.21)

●ロータリー財団の歴史 ①

1917年6月

アーチ・クランプがロータリー年次大会で「世界で良いことをする」為の基金の設置の提案。最初の寄付はカンザスシティ RC から 26 ドル 50 セント (今の価値では約 500 ドル)

1919年

国際障がい児協会 (イースターシールズ) がエドガー・アレンによって設立された。

1928年

ミネアポリス国際大会で「ロータリー財団」と正式に命名された。

事務局は午前10時から午後16時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください

●例会場 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト 21 東京内 TEL : 03(5683)5683 ●例会日 / 毎週火曜日 12時30分～13時30分  
●事務局 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト 21 東京内 TEL : 03(5632)3777 FAX : 03(5632)3737



# サラヤの環境への取組



東京サラヤ(株)東京支店支店長 江良 慎也 様

### サラヤのSDGs取り組み

**SDGsとは**  
 人類が繁栄できつと暮らし続けるような世界をつくるための目標  
 日本国で持続可能な開発目標と称され、2015年9月の国連サミットで採択されたSDGsで、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間を達成する目標とした。17の目標・169のターゲットから構成され、地球上に「誰一人取り残さない」ことを誓っている。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）な目標であり、日本としても積極的に取り組んでいる。

**SDGsについて**  
 サラヤは互いに密接な関係にある「衛生」「環境」「健康」の3つのキーワードを事業の柱とし、より豊かで誇りある地球社会の実現に向け、SDGsを企業活動の中心に取り組みます。

### サラヤ SDGs取り組み事例①

**15. 陸の豊かさを守ろう**  
**ポルネオ保存トラスト**  
 サラヤは2007年から、持続可能な「ポルネオ」の活用と、ポルネオ産品・パッケージで生物多様性の保護に貢献している。

私たちの生活に欠かせない「ポルネオ」は、この地球上で最も希少な天然資源の一つ。この資源を後世に引き継ぐためには、持続可能な形で採取し、適切な管理を施さなければならない。ポルネオ保存トラストは、アブラヤシ産品によって支えられた、熱帯雨林に新たな生命を吹き込み、分岐された「保護地」をつくり、持続可能な形で採取し、適切な管理を施すことを目指している。

また、2007年から「サシノミ洗剤」の売上の一部を、SDG15「陸の豊かさを守ろう」に寄付し、2021年からは「ハイポ-エルフランド」(コパー)ブランドにも寄付を開始した。こうして日本でも誇りある消費者を、Green Palm認証のSDG15達成を支援したサラヤの貢献がますます、SDG15の達成に貢献してきている。

### サラヤ SDGs取り組み事例②

**緑の樹園プロジェクト**  
 アブラヤシ産品の生産地であるインドネシアのジャバ州、スマタラカ県、サマタラカ郡の緑豊かな樹園に、サラヤが積極的に貢献している。

**命の吊り橋プロジェクト**  
 サラヤは、ジャバ州のジャバ州、スマタラカ県、サマタラカ郡の緑豊かな樹園に、サラヤが積極的に貢献している。

**野生動物の救出プロジェクト**  
 アブラヤシ産品の生産地であるインドネシアのジャバ州、スマタラカ県、サマタラカ郡の緑豊かな樹園に、サラヤが積極的に貢献している。

**RSPOへの加盟**  
 サラヤは、RSPOの加盟企業として、持続可能なポルネオの活用と、ポルネオ産品・パッケージで生物多様性の保護に貢献している。

### RSPO認証とは

**RSPO**  
 RSPOは、アブラヤシ産品の持続可能な生産を推進する国際的な組織で、2004年に設立された。持続可能なポルネオの活用と、ポルネオ産品・パッケージで生物多様性の保護に貢献している。

**RSPO認証の目的**  
 世界の必要としている「ポルネオ」が、地球にも無難な（使い続けられる）ように、適切な方法で生産される国際会議。

**RSPO認証の目的**  
 持続可能なポルネオの活用と、ポルネオ産品・パッケージで生物多様性の保護に貢献している。

**RSPO認証の目的**  
 持続可能なポルネオの活用と、ポルネオ産品・パッケージで生物多様性の保護に貢献している。

### サラヤのRSPO取組とタイムライン

2004年 RSPO加盟  
 2005年 RSPO認証取得  
 2006年 RSPO認証取得  
 2007年 RSPO認証取得  
 2008年 RSPO認証取得  
 2009年 RSPO認証取得  
 2010年 RSPO認証取得  
 2011年 RSPO認証取得  
 2012年 RSPO認証取得  
 2013年 RSPO認証取得  
 2014年 RSPO認証取得  
 2015年 RSPO認証取得  
 2016年 RSPO認証取得  
 2017年 RSPO認証取得  
 2018年 RSPO認証取得  
 2019年 RSPO認証取得  
 2020年 RSPO認証取得

### サラヤ SDGs取り組み事例③

**14. 海の豊かさを守ろう**  
**ブルーオーシャンプロジェクト**  
 サラヤは特定非営利活動法人、ゼノ・ジャパンと共に、プラスチックごみの削減と、海洋資源の保護に取り組んでいる。

私たちの身の回りには、プラスチック製品の数が数十年前に比べて増えています。特に、プラスチック製の容器、包装材、日用品などは、海洋資源の保護に貢献している。ゼノ・ジャパンは、プラスチックごみの削減と、海洋資源の保護に取り組んでいます。サラヤは、ゼノ・ジャパンと共に、プラスチックごみの削減と、海洋資源の保護に取り組んでいます。

### これからのサラヤについて

2025年度 関西方面、世界的ライスターによる、環境への貢献を推進する「区域別環境パートナーシップ」内の取組を支援し、2050年「大気・水・土壌・生態系」を達成する。

2030年 環境・社会・ガバナンスの3つの事業を柱とし、持続可能な社会の実現に向け、SDGsを企業活動の中心に取り組みます。

2050年 環境・社会・ガバナンスの3つの事業を柱とし、持続可能な社会の実現に向け、SDGsを企業活動の中心に取り組みます。

### これからのサラヤについて

**70th**  
 いのちをつなぐSARAYA  
 ~持続可能な社会を目指して~

サラヤはこれからも、顧客の信頼を築き上げていきたいと思います。1952年（昭和27年）以来「衛生・環境・健康」の3つの事業を柱とし、持続可能な社会の実現に向け、SDGsを企業活動の中心に取り組みます。

2025年度 関西方面、世界的ライスターによる、環境への貢献を推進する「区域別環境パートナーシップ」内の取組を支援し、2050年「大気・水・土壌・生態系」を達成する。

2030年 環境・社会・ガバナンスの3つの事業を柱とし、持続可能な社会の実現に向け、SDGsを企業活動の中心に取り組みます。

2050年 環境・社会・ガバナンスの3つの事業を柱とし、持続可能な社会の実現に向け、SDGsを企業活動の中心に取り組みます。

### サラヤ 会社概要

**1952年 創業** 手洗い石けん類、専用容器の開発・発売  
**1961年** 自動うがい紙の開発・発売  
**1971年** ヤシノミ洗剤の開発  
**2010年** SARAYA 100万人の手洗いプロジェクト  
**2020年** 環境工場竣工

### サラヤ 会社概要

**2010年** SARAYA 100万人の手洗いプロジェクト  
**2020年** 環境工場竣工

### サラヤ 取り組み事例

**これまで日本で開催されたサミットをサポート**  
**ミラノ万博2015のテーマ「食」に対応する衛生管理をサポート**

### サラヤ 取り組み事例

**国からの依頼でアルコール手指消毒剤を40万L供給**

### サラヤ 取り組み事例

**茨城県へのコロナ禍における後援物資の供給で総務大臣を受賞**

### サラヤ 取り組み事例

**東京都福祉保健局への高州を通じて総務大臣を受賞**